



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-09

3月号

発行 2026年3月17日

Chartered 1998

- 川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」
 ~楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実~
- 副会長 松川 厚子 国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)
 会計 吉田 公代 主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』
 スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』
- 書記 吉野 勝三郎 アジア太平洋地域会長: 田上 正(熊本むさしクラブ)
 主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』
 スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”
 『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』
- 東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)
 主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”
 スローガン Change!

3月の聖句

わたしは、強く雄々しくあれと命じたのではないか。
 うろたえてはならない。
 おののいてはならない。
 あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。
 (旧約聖書 ヨシュア記 1章9節)

Have I not commanded you?
Be strong and of good courage:
Do not be afraid,
nor be dismayed,
for the LORD your God is with you
wherever you go.
 (Joshua 1:9)

(2月27日)

出席者 9名 うち、クラブメンバー出席率 70%

川越クラブ 2026年2月例会報告

利根川太郎

日時: 2026年2月28日(土) 14:00~16:00

会場: 川越YMCA

1. 議事・報告

(1) 「アースディ川越」について

・3月7日(土)10:00~15:00 蓮馨寺境内 搬入: テント、
 バザー品、いも菓子(11:00に芋十に取りに行く20袋)、
 コーヒー 借用: 長机2、椅子5、搬入時間 8:00~9:00、

9:00 全体打合せ・集合時間 8:30 生川、利根川太郎・
 恵子 9:00以降: 吉野、新井、吉田、山崎・川越YMCA
 からは長尾さん

(2) 「関東東部の集い」については、山本さんから川越ク
 ラブ欠席(出席無し)を連絡

(3) Yの森コーヒーについて

・2月購入分まで 1袋 280 バーツ×5.09=1,425円 利益
 1,800-1,425=375円
 ・3月購入分から 1袋 340 バーツ×5.09=1,731円 利
 益 1,800-1,731=69円・販売価格は3月購入分から
 2,200円とする(アースディは1,800円)

(4) 4月25日(土)W4W「動物園訪問」について・東武
 動物公園駅に11:00集合。軍手、ビニール袋、クラブウイ
 ンドブレーカー

(5) 3月28日(土)バス旅行について

・8:00 ウェスタ川越前集合
 ・集金と当日支払い担当は吉田さん。集金は事前案内
 通りとし、障害者割引入園料の返金は無し。

(6) 5月23日(土)滑川さん卓話について

・場所 ウェスタ川越 3F 研修室 4(13:00~17:00)プロ
 ジェクター借用・チラシ作成は吉野さん

(7) 4月12日(日)ブルーマルシェ ウェスタ川越 10:00
 ~15:00・いも菓子は4月9日(木)に芋十に取りに行く。
 河合さんに依頼

(8) 東日本区大会での物品販売可能か問い合わせる

・日帰り(登録無し)で山崎さんの販売が可能か

2. インフォメーション

(1) ユースサポートファンド 川越クラブとして 5,000 円を寄付しました。

(2) インド体験/交流プログラム報告

・3月2日に帰国予定。(無事帰国しました)

・3月14日(土)の次期会長研修会で報告会を実施する予定

3. 次回例会日程

・日時 2026年3月28日(土)8:00~15:30 バス旅行
集合場所 ウェスタ川越

4. YMCA報告

・Y's SDGs Youth Action 2026に「ENBIROI~身近な発見は地面にあり~」としてエントリーする。若者と外国籍の方に焦点を当て、一緒にゴミ拾いを行うことで「縁」を育むことを目的とする活動

5. ブリテン執筆者確認 リレーエッセイ山崎さん、新入予定会員五十嵐さんの随筆



川越ワイズメンズクラブ入会予定の五十嵐夫妻

利根川太郎

昨年来、私たちのクラブ例会に出席していただいている、五十嵐政二・かほる夫妻について、入会の手続きを進めています。この度東日本区に届け出をいたしましたので5月23日(土)の川越クラブ5月例会で、入会式を行う予定ですので、お知らせします。心からお二人の入会を歓迎いたします。

お二人の経歴などについては、今後、このブリテン等で紹介したいと思います。まずは、政二さんから、下記のような原稿をいただきましたので、掲載いたします。

五十嵐 政二

先日、テレビでWBCの開会式をみていたら、アメリカの国歌が流れてきて、一瞬オヤっと思った。ここはカナダ、ト

ロントのはずーでも、すぐに、それはドジャースのためだと気がついた。

記憶は約40年前に遡る。長男が、カナダのキングストン大学のドクターコースに留学していたので、夏休みに訪問していた時、街にある士官学校の創立記念日でアメリカ国歌が流れて来た。「長年の恩讐を乗り越えて、ここにカナダに初めてアメリカ士官学校の生徒を迎え、「星条旗よ永遠に」がカナダの空に響き渡る」と聞いて、そういえば、アメリカとの国境のセントローレンス川の岸に古い砲台が並んでいた！ アメリカの方を向いて！！ トランプがカナダをアメリカの51番目の州にするとした時よりもっと信憑性があったようだ。

それについて思い出されるのは、タイでの経験。知識人の答えて、「もっとも好きな国はラオス」と即座に返ってきた。その後、ラオスでは、「もっとも嫌いな国はタイ」という。なぜかと訊くと、「ラオスの大事なエメラルドの仏像を持っていったし、領土も！」という。

考えてみれば、日韓関係も同じではないだろうか。相手が常に同じ考えを持っていると思うのは楽観的過ぎるのではないだろうか。ということまで行くと、夫婦関係もそうだろう！



国際の舞台から

ますます拡大するワイズ運動

利根川 恵子

ワイズメンズクラブ国際協会は国際的な組織であり、会員数やクラブが存在する国数は常に気になります。

YMI ワールドの3月号によると、ワイズメンズクラブが存在する国は**86ヶ国**です。この1年間で、この運動が、スペイン、アイルランド、アルメニアに拡大し、フランスではクラブが復活しました。また、この1年間で**83クラブ**が設立されました。この着実な成長は、文化やコミュニティを超えて私たちの使命の活力と重要性を反映しています。

このような国際レベルでの動きを覚えて、ぜひ我々のクラブレベルでも会員数の増加を目指して頑張りたいものです。

世界のワイズメンズクラブの統計は、下記のURLから取得できます。

[Countries & Territories | Y's Men International](#)



2026年1月17日にチャーターされた台湾・イーラン・ワイズメンズクラブ

リレー随想

川越キングスガーデン シスター吉川つやさんを探ねて

山崎 純子

2月の初め、山本剛史郎ワイズのお世話で川越キングスガーデンに入居している吉川つや修女さんを探ねた。実に足かけ4年ぶりだ。

今年つや修女さんは94歳になる。彼女が90歳の時私が毎日曜日礼拝に参加している川越キリスト教会でささやかな誕生日祝いをしたのが最後、その後脚腰の骨折で教会でお会いできなくなった。(以後つやさんと記す)

つやさんは12年前イギリスから帰国し、所属の川越キリスト教会に戻られた。川越出身で長くナザレ修女会に所属し、修女として勤められたが、50代初めの頃イギリスに渡られ、ロンドン郊外のバーナム ABBEY に30年余り修女として勤められた。そこで終身修女の誓いを立てられ82歳まで祈りと労働の生活を続けられた。

洗礼名が私と同じ[Miriam]だったので、それをきっかけに声をかけた。MiriamはMosesの姉、女性のリーダーであり聖書の「出エジプト記」では女性をまとめ、そして音楽に秀でておりタンバリンで気持ちを一つにした、と言われている。「私はMiriamみたいじゃないのよ」と話されたが音楽好き、とりわけ歌が好き、きれいなソプラノで歌う彼女はMiriamにぴったりの方だと思った。

帰国後は川越キングスガーデン有料老人ホーム「主の園」で生活し、毎日曜日教会でお会いした。彼女は祈りの生活をすごしているが、お出かけ好き、映画、コンサート、旅行をお誘いすると気持ちよく一緒された。北海道千歳市におられるかつて川越教会の司祭であられた福島忠雄氏にお会いするために一緒に、札幌観光をしたことは楽しい思い出だ。

英語が話せなくても大丈夫だったのです？と人はよく尋ねる。しかし彼女は祈りのことばはいつも同じ、英語、ラテン語、ギリシャ語、そして彼女はお裁縫が上手。シスター達の服や主教の式服を新しくしたり仕立て直したり、次第にABBEYの方達と親しく交わるようになったと話した。特にお得意のソプラノで礼拝のチャント(グレゴリア聖歌のような祈りの詩歌)の歌い出しをやるよう勧められた。人柄と特技が語学以上の役割を担ったと言える。

1時間あまりの面会だったが昔話、若い頃の思い出、シスターとしての生活を話し、そして沢山の歌を歌った。私が「こよなく晴れた青空に～」と歌い出すとすぐに後を続けられ「長崎の鐘」を朗々と表現豊かに歌われた。「椰子の実」「ここに幸あり」「ゴンドラの歌」「宵待ち草」等昭和の懐かしい歌を完全に暗記しており、何よりも日本語の美しさや音楽の流れを意識して抑揚をつけて歌う。かつてナザレ修女会の頃、童謡歌手川田正子さんが訪れた時歌い方を学んだと言う。表情もそして何よりも目の輝きが素晴らしく、とても94歳の女性とは思えなかった。

また来ることを約束してお別れしたが、今回は今お世話になっているさいたま市の「歌の広場」の歌詞プリントをお持ちしようと思った。きっとまた楽しく歌うひとときが持てるだろう。好きなことをずっと楽しめる事はなんと素晴らしい事だと私の人生に大きな希望をいただいた一日だった。



YMCA報告

2026年3月7日「アースデイ川越 in 昭和の街」に参加

諸見里信子

3月7日、川越の蓮馨寺にて「アースデイ川越 in 昭和の街 2026」が開催されました。1999年から続くこのイベントは、子どもから大人までがSDGsや持続可能な社会について共に考える市民参加型イベントです。

今年のYMCAブースは、川越ワイズメンズクラブの皆さまにご協力いただきながら、メンバーが中心となって運営を担いました。

■ 強風にも負けない！子どもたちの奮闘と交流

当日はあいにくの強風に見舞われましたが、子どもたちは元気いっぱい！

運営の工夫：輪投げやモルックの呼び込みでは、一生懸命に見本を見せて客席を盛り上げました。また、風で飛ばされそうなテントを水囊で必死に抑えるスタッフの姿を見て、子どもたちがその大変さや安全管理に感心する一幕もありました。

多彩な体験：運営の合間には、米粉ワッフルなどの地元の味を楽しみ、わらじ作りや生活クラブの石鹸作りにも挑戦。特に石鹸作りは、握力を使ってこねる作業に苦戦しながらも、自分だけの作品を完成させていました。

■ イベントを終えて

会場全体では、強風の中でも場を盛り上げようとする司会の方の熱意が印象的でした。また、川柳コンテストでは市外(横浜など)からの入賞者も多く、アースデイ川越が地域を越えて愛されていることを実感しました。

メンバーたちが自分たちの役割を全うしつつ、地域のイベントを全力で楽しんだ一日は、彼らにとって大きな自信につながったはずです。



編集後記

今号も、内容豊富な「希望の鐘」が出来上がりましたので、ぜひご一読ください。わが、川越クラブの力を感じます。次号も期待して下さい。

それにしても、ロシアとウクライナの戦争がなくなって欲しいと祈る中、イスラエルとアメリカによるイラン爆撃というショッキングなニュースが入ってきました。私がガソリンを買った翌日は、リッター当たり20円値上がりしていました。10年程前からドバイに住むインド人の知人は、2月28日には、早速インドに出国していました。この戦争が長引けば、日本へもさまざまな影響が予想されます。祈りの課題が増すばかりです。

私には5人の孫がいますが、そのうち4人は男で、偶然にも彼らは、今日現在全員大学生です。彼らのこれからの

人生が、実り多いものとなって欲しいですが、楽観的過ぎるでしょうか？ 皆さんの努力と協力で成功裡に実行された、“インド体験・交流プログラム”に参加させてもらった大学2年生の孫は、大変貴重な体験をさせてもらって帰ってきました。このような草の根活動が、世界平和の一助になることを切に願います。次号では、この“インド体験・交流プログラム”についての報告を掲載できると思います。

(KY)